

公益財団法人日本バレーボール協会 2014 年度第 7 回理事会(定例) 概要

1 日 時 : 2015 年 3 月 16 日(月) 14 : 00~16 : 15

2 会 場 : 津田ホール T101・102 会議室

3 出席者 :

理事総数 15 名

出席理事 11 名

代表理事 羽牟裕一郎

理事 岩満一臣、大塚慶二郎、小野元之、小島和行、下山隆志
竹内浩、西脇克治、林義治、福本ともみ、山口香

監事総数 3 名

出席監事 3 名 大西浩志、高橋治憲、廣紀江

4 代表理事 羽牟裕一郎

5 決議事項

- (1) 6 期(2015 年度)事業計画について
- (2) 第 6 期(2015 年度)収支予算について
- (3) 評議員任期満了に伴う取り扱いについて
- (4) 特定資産の取り崩しについて
- (5) 功労者 I 表彰及び功労団体表彰の決定について

6 議事の経過の要領及びその結果

代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第 41 条に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。

続いて議事録記名押印理事に小島理事を選出し、次の議案の審議に入った。

(1) 第 6 期(2015 年度)事業計画について

(2015 年度) 事業計画について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

* 第 6 期(2015 年度)事業計画の詳細は、資料記載のとおり。

説明後、本件に関連して以下の意見、質問等があった。

- ・バレーボールファンをこれからどうやって増やそうとしているのか。
観客動員をどのようにして行くのか。
- ・競技人口の拡大だが、20 年前から減少が続いている。ゴールドプランをやっているが、大きな成果は上がっていない。ママさんも減少傾向、小学生の減少にも歯止めがかか

らない。正に抜本的な改革が必要な時期になっている。今後は、バレーボールファンは増えたとしても競技人口は増えないだろう。

- ・理念のアピールやメッセージを伝える必要がある。例えば、「求む文武両道」等。
- ・バレーボールを今までにない魅力的なものにしていく必要がある。スポーツをすることが、将来のプラスになっていくことをアピールすべき。
- ・それぞれのスポーツが努力しても限界がある、バレーボールだけでなくスポーツ界全体でこの問題に取り組む必要がある。

また、強化と普及は同一線上にはない。強化をしたければ少数精鋭が早道だ。

強化と普及のバランスをとって運営することが大切だと考える。

- ・東京オリンピックに向け、スポーツ全体を盛り上げていくべき。
- ・フラッグフットボール協会では、誰でも参加できる競技を目指している。運動が苦手な子供でも喜びを感じられる。みんなと一緒に考え成功体験を味わう。子供たちのために何ができるかを考えたら良いと思う。

(2) 第6期（2015年度）収支予算について

第6期（2015年度）収支予算について、以下の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

来年度の予算については、ワールドカップの開催もあり、事業規模が大幅に拡大し、収益は今年度の1,824百万円から3,809百万へ、費用は1,818百万から3,904百万となり、法人税等を含めて97百万の赤字予算となった。

2020年の東京オリンピックを見据えて、強化に注力すること、ビーチバレーボールの更なるテコ入れ等を考慮し、費用の最適利用をはかった。一方で、補助金等の収入については未確定要素が大きいため現実的な収入予算を組んだが、今後国の助成方針によっては収入の上積みが可能である。

今後、さらに収入増、及び経費の節減に努め、赤字予算の縮小に取り組む所存である。

*第6期（2015年度）収支予算の詳細は、資料記載のとおり。

(3) 評議員任期満了に伴う取り扱いについて

評議員任期満了に伴う取り扱いについて、以下の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

6月の定時評議員会の終結の時をもって、3名の評議員（立木評議員、坂東評議員、永井評議員）の任期が満了となる。3名の評議員退任後の体制は、17名となるが、定款の評議員会定足数の15名以上20名以内を満たしていること、今までの評議員20名の中で選任された時期の関係から3名の評議員の任期満了の時期が他の評議員の1年後となっていたが、今回選任を見合わせれば全評議員の任期満了時期を揃えることができる。

以上の理由により今回の退任に伴う評議員選任は、行わないことと致したい。

(4) 特定資産の取り崩しについて

特定資産の取り崩しについてについて、以下の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

(提案内容)

特定資産 2 件の全額(合計 84,800,000 円)取り崩し

1. 減価償却引当資産 (33,000,000 円)
2. 選手強化特別事業積立資産 (51,800,000 円)

(理由)

事業運営資金(現金)が逼迫しており、3月～4月には借入れが必要な状況となる。この借入額を最少にし、利息支払い額を抑えるために、特定資産を取りくずすことを提案する。

これらの特定資産は、公益財団移行(2011年2月)前からあり、将来の固定資産購入、選手強化特別事業に備えるために資金を別途確保していたもので、金額が半端で、長期間にわたり定期預金(普通預金と同率)での運用となっている。

今後は、特定資産の計上をしなくとも、これらの目的で資金を使用する場合には予算計上を行えば、資金を特別に確保する必要はなく、資金を全体として有効活用できる。

(5) 功労者 I 表彰及び功労団体表彰の決定について

功労者 I 表彰及び功労団体表彰について、以下の 3 名及び 1 団体について表彰したい旨の説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決した。

【2014 年度功労者 I 表彰】

- | | |
|-------|-------------------------|
| 若尾 勝美 | (JVA 推薦) |
| 齋藤 治 | ((一財)長野県バレーボール協会推薦) |
| 月岡 靖夫 | (全国高等学校体育連盟バレーボール専門部推薦) |

【2014 年度功労団体表彰】

香川県綾歌郡宇多津町(香川県バレーボール協会推薦)

7 報告事項

(1) 評議員懇談会の会議報告

評議員懇談会の会議報告について、以下のとおり説明が行われた。

2015 年 3 月 4 日に評議員懇談会が開催され、本年 6 月の任期満了に伴う理事選任のあり方について評議員間での意見交換が行われた。評議員会から、今後の役員選考に当た

り、今回の懇談会の場で話された内容について、役員候補者推薦委員会、理事会において是非報告していただきたい旨の要望が出された。

(2) AVC 東京オフィスの廃止について

AVC 東京オフィスの廃止について、以下のとおり説明が行われた。

2013年7月2日よりAVC 東京オフィスを開設し営業してきたが、2014年10月1日よりAVC 本部が中国北京よりタイバンコクに移設された事に伴い、東京オフィスの役割もタイに移管されることが決定した。

この結果を受け、2014年10月20日の理事会にてAVC 東京オフィスの事業廃止が承認された。

その後、内閣府へ廃止認定の申請を行ってきたが、2015年1月23日付で事業廃止認定がされたため、これに合わせて本会組織であるプレジデントオフィス・AVC 東京オフィスを廃止することとした。

(3) 戦略企画会議の会議報告

戦略企画会議の提言について、以下のとおり説明が行われた。

戦略企画会議では「JVA のあるべき姿」について議論が行われ、「我が国だけでなく、アジアをはじめとし世界からバレーボールの国内統括団体として“Respect”される JVA であるべきである。」との結論およびそれを目指すための組織運営体制に関する提言があった。

(4) 功労者Ⅱ表彰について

第5期(2014年度)第4回功労者Ⅱ表彰を下記のとおり行う事について報告があった。

○第5期(2014年度)第4回功労者Ⅱ表彰者

鵜野 政人	((一財) 広島県バレーボール協会	名誉顧問)
佐藤 紀浩	((一財) 長崎県バレーボール協会	副会長)
武者 政幸	(三重県バレーボール協会	参与)
渡邊 健治	(熊本県バレーボール協会	副会長)
戸田 光紀	(福井県バレーボール協会	副会長)
永江 一雄	(岐阜県バレーボール協会	副会長)
坪野 米三	(茨城県小学生バレーボール連盟 (元)	副会長)

(5) 2014年度第4四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2014年度第4四半期の職務執行報告が、羽牟代表理事、業務執行理事及び強化本部長より行われた。主な報告内容は以下の通りである。

【羽牟代表理事】

- ①春高バレー開会式、閉会式挨拶
- ②FIVB 医事委員会出席
- ③記者会見（プロジェクト・コア）
- ④AVC 医事委員会への出席
- ⑤感謝の夕べ出席
- ⑥FIVB 委員長会議出席

【西脇事務局長 国際事業本部本部長】

- ①理事改選に関する各種会議、手続き
- ②アンチドーピング対応
- ③2017、2021WGCC 契約交渉
- ④有明アリーナ（2020 東京）施設への JVA/FIVB 要望対応
- ⑤選手のケガ、障害の保証問題についての協議
- ⑥JVA 新試合情報管理システム（JVIMS）
- ⑦JVA MRS（メンバー登録システム）
- ⑧新 MRS システム開発
- ⑨FIVB スポーツイベントカウンシル出席
- ⑩AVC スポーツイベントカウンシル出席

【岩満業務執行理事 M&M 事業本部本部長】

- ①全国高等学校選手権大会（春高バレー）
- ②記者会見（プロジェクト・コア）
- ③9人制全日本総合女子選手権大会
- ④スポンサー対応
- ⑤JVA 感謝の夕べ
- ⑥2015 年度版ルールブック製作
- ⑦公認・推薦認定委員会

【下山業務執行理事 国内事業本部本部長】

- ①全国高等学校選手権大会（春高バレー）
- ②9人制総合選手権大会
- ③FIVB 審判員会会議
- ④競技人口拡大委員会
- ⑤黒鷲旗選考委員会
- ⑥天皇杯・皇后杯実行委員会
- ⑦全国競技委員長研修会

【小島業務執行理事　ビーチバレーボール事業本部長】

- ①2015 シリーズ A 開催準備
- ②グラندスラム横浜大会準備
- ③第 1 回事業本部会開催
- ④ビーチバレーボール記者発表会
- ⑤JVA 感謝の夕べ
- ⑥AVC 会議出席

【荒木田強化事業本部本部長】

- ①日本スポーツ賞受賞式
- ②記者会見（プロジェクト・コア）
- ③黒鷲旗大会チーム選考会議
- ④JVA 感謝の夕べ
- ⑤リオ対策プロジェクト
- ⑥チームコア合宿視察

以　上